

国際協力講演会・国際協力交流会



サンコン氏の楽しいお話に会場は盛り上がりました。

1月22日(日)、ギニア共和国外務省顧問・大使補佐官 オスマン・サンコン氏を講師にお招きし、「明るい国際協力 ～サンコンのアフリカ物語～」をテーマに国際協力講演会を開催しました。

ギニアの正装で講演したサンコン氏は、200人を超える聴衆を前に、数多くの国を訪れた経験を踏まえて、「国によって文化が違うのは当たり前、その違いをしっかりと理解できれば国境や戦争はなくなるのでは。」と、国際理解の重要性を話されました。

そして、「郷に入っては郷に従うことがとても重要。日本人ももっと海外に出て外の国への理解を深めてほしい。」と締めくくりました。

講演会に引き続き、埼玉県が今年度創設した、「埼玉グローバル賞」の表彰式を行いました。

その後、協会会長でもある上田清司埼玉県知事が、県内 NGO の活動を資金面で支援する原資となる「彩の国さいたま国際協力基金」に多額の寄附をしていただいた三国コカ・コーラボトリング株式会社様、株式会社浦和寿様に、感謝状を贈呈しました。

続いて行われた交流会では、県内の国際交流・協力を携わる方々が一堂に会し、上田知事やサンコン氏を交えて交流を深め、会場には笑顔の輪が広がりました。

参加者からは、「国際理解の第一歩となった。」、「また開催してほしい。」といった声が届けられました。

参加者にとって、この講演会と交流会が、国際協力や国際交流の「はじめの一歩」になったことと思います。



「埼玉グローバル賞」受賞者、「彩の国さいたま国際協力基金」寄附者、審査員の皆様



交流会では、埼玉グローバル賞を受賞した山内達哉氏によるヴァイオリン演奏が行われ、参加者の皆さんも聴き入っておられました。

上田埼玉県知事も参加者と歓談しました。



ロビーでは、県内の NGO 団体による国際協力活動のパネル等を展示し、多くの方々にご覧いただきました。

タウンミーティング ～外国人住民参加の地域づくり～



外国人住民が増加する中で、外国人が地域づくりに参加し、共に生きていくことが求められています。そのためには、外国人の生活支援に携わる NGO や地域住民と行政が連携していく必要があります。

そこで、NGO、地域づくりや多文化共生に関心のある方、行政関係者を対象としたタウンミーティングを、八潮市・鴻巣市・坂戸市・加須市で開催し、152名が参加しました。

当日は NGO の活動紹介やパネルディスカッションを通して、外国人住民参加の地域づくりについて熱心な意見交換等が行われました。また、参加した外国出身の方からも、様々な意見を出していただきました。